

中間報告書骨子案の構成（案）

1. 中間報告書案の名称

原子力防護専門部会 中間報告書

ーガラス固化体等の核物質防護の在り方についてー

2. 中間報告書案の構成

第1章 はじめに

1－1. 背景

○放射性物質や核物質の防護（原子力防護）の在り方に関する基本的考え方を検討するに当たって、原子力委員会に本部会を設置することになった経緯、当該検討の必要性等について記載。

1－2. 本部会での取りまとめの範囲

○本部会での原子力防護の在り方に関する基本的考え方についての取りまとめ範囲を記載。

1－3. 中間報告書での取りまとめの範囲

○中間報告書において取りまとめる範囲を記載。

- ・ガラス固化体及び長半減期発熱放射性廃棄物（放射能レベルの高いもの）の核物質防護の在り方の基本的考え方について取りまとめる旨を記載。

1－4. 用語の定義

○本報告書での用語の定義を記載。

原子力防護、核物質、放射性物質、妨害破壊行為等の用語の定義を記載。

第2章 我が国における核物質防護の現状

2－1. 国内の現状等

○我が国の核物質防護のこれまでの経緯等を記載。

- ・国内動向 原子力委員会決定、核物質防護専門部会報告書、国内法制面の対応等
- ・国内の現状 ガラス固化体等に対して、現在、実態上採られている措置の概要について記載。

（日本原燃（株）、日本原子力研究開発機構における、ガラス

固化体等に対する措置の概要について記載。)

2－2．海外の現状等

- IAEA 勧告 (INFCIRC/225/Rev.4)、核物質防護条約等について記載
- 欧米主要国におけるガラス固化体等に対する核物質防護措置の現状について記載。

第3章 ガラス固化体等の防護の基本的考え方

3－1．検討の必要性

- ガラス固化体等の防護措置の必要性について記載。
 - ・核物質防護の従来目的
 - ・新たな脅威に対する検討の必要性

3－2．ガラス固化体等に対する防護の在り方に関する基本的考え方

3－2－1．防護の観点と対象

- 妨害破壊行為の観点
- 対象物とその対象施設について記載

3－2－2．防護の基本的考え方

- ガラス固化体等に係る防護の基本的考え方と防護要件について記載。(施設、輸送等)

3－2－3．その他考慮すべき事項

- 安全規制等と防護規制との効果的連携の在り方等について記載。

第4章 おわりに

- 中間報告書としての結論を記載。
- 放射性物質の防護の在り方に関する基本的考え方等について、今後、引き続き検討していく旨を記載。